

情報リテラシーⅡ (G2)

更新日：2025/02/04 17:32:18

開講年度	2025	学期	3期, 4期	科目コード	L5210	授業コード	
担当教員	萱津 理佳						
備考							
配当	学部/学科	大学, 大学 グローバルマネジメント学部, 大学 グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科					
	配当時期	—	曜日/時限	—	単位	1	
	備考(配当)						

授業の概要

「情報リテラシー」で学んだICTスキルを発展させ、大学での学習・研究におけるデータ活用の実践力を高める。表計算ソフトや文書作成ソフトのより高度な機能を習得するとともに、Google Colaboratory を活用したデータ分析や簡単なAIモデルの作成を体験し、AI技術の利活用や社会的課題について考察する。

到達目標

1	文書作成ソフトを用いて論理的で説得力のあるレポートを作成できる
2	表計算ソフトの利用において、相対参照・絶対参照を適切に使い分け、関数のネストや応用的な関数を活用したデータ処理や分析ができる
3	表計算ソフトのデータベース機能を活用し、データの抽出やクロス集計が行える
4	Google Colaboratory を活用し、基本的なプログラムを実行できる（Pythonの基礎的なコードを理解し、データ分析や簡単なグラフ作成を行うことができる）

キーワード

情報利活用能力, ICT, Word, Excel, データ分析, Python

履修要件

特になし。必修科目。

教授方法

講義と演習を織り交ぜた形式。各自の演習が主となる。

アクティブ・ラーニングの要素の有無

有

授業計画

1	ライティングスキル① 長文サポート レポート・論文をかかるときに利用する機能
2	ライティングスキル② 総合問題 総合練習問題
3	データ分析とその表現① セルの参照方法 基本関数の復習とセルの参照方法（相対参照/絶対参照/複合参照）
4	データ分析とその表現② 関数のネスト スピル機能、関数のネスト、応用的な関数①
5	データ分析とその表現③ 応用的な関数 応用的な関数② エラーチェックと対処方法
6	データ分析とその表現④ グラフ作成の基礎 グラフ作成の基本
7	データ分析とその表現⑤ グラフ作成の応用 様々なグラフ（円グラフ、複合グラフ、散布図など）
8	データ分析とその表現⑥ データの抽出 データベース機能について 並び替えとデータの抽出
9	データ分析とその表現⑦ クロス集計 ピボットテーブルの利用によるデータの集計やクロス分析
10	データ分析とその表現⑧ 総合問題 総合練習問題
11	小テスト データ分析スキルに関する小テスト
12	データサイエンスとAIの活用 社会を支えるデータサイエンスとAI, AIやデータサイエンスとの向き合い方 データ分析の流れ、データの種類と分類
13	データ分析 Google Colaboratory を利用したデータ分析の体験

14	AIモデル作成 Google Colaboratory を利用したAIモデル作成（文字認識）の体験
----	--

教科書・テキスト

基本方針	「情報リテラシー」で使用した教科書を引き続き利用します			
必須/推奨	書籍名/資料名	出版社	出版年月	備考
必須	大学生の「知」の情報・AIスキル	共立出版	2024年4月	ISBN:9784320125780, ¥2,900+税

参考書・参考資料等

Glexa で適宜指示

授業外における学習

- ①授業時間内で理解できなかった内容について復習し、不明点を解決すること。
- ②作成途中の課題は各自で仕上げ、授業で学んだスキルを活用して完成させること。

成績評価

共通の評価基準		
評価項目	割合	評価基準
課題	50	課題への取り組み姿勢に応じて評価する。
試験	50	試験を課し理解度に応じて評価する。
合計	100	

質問や相談への対応

- ・質問は、授業中や授業の前後に受け付ける。
- ・メールでの質問も受け付ける。

受講生に望むこと

ICTの利用は手段であり、目的ではありません。本科目では、単に課題を提出することが目的ではなく、全ての課題に主体的に取り組むことが求められます。また、演習科目であるため、やむを得ない場合を除き、授業を欠席しないこと。

その他・特記事項

近年、データ分析やAIの活用がさまざまな分野で重要性を増しています。本科目を通じて、これらの基礎的な概念や技術に触れ、実社会での活用について考える姿勢を身につけてほしいと考えています。

（実務経験のある教員が授業を担当する場合のみ）実務経験及びその内容